



# 社員の心得

経営理念・基本方針

**NAKAZAWA GROUP**

# 幸せと豊かさを 共につくる

いつも明るく輝いて、  
心豊かで活力ある明日のために！

私たちナカザワグループを木に例えると、  
理念や基本方針は組織の基盤となる大切な根っこの部分。  
ナカザワホールディングスという幹から伸びる枝はグループ会社。  
そして青々と繁るたくさんの葉は社員一人ひとり。  
そんな木が地中深く根を張っていない状態で、  
さらに幹を太くし、枝を伸ばそうとしても、  
きっと倒れてしまうでしょう。  
普段は見えない根っこを深く張り巡らせることで、  
木はさらに大きく成長します。  
私たちナカザワグループは大樹のように、  
いつも元気に葉を繁らせ、たくさんの実りをもたらし、  
そして年輪を重ねていく。  
そんな存在になりたいと願っています。





代表メッセージ .....	6	基本コンセプト .....	15
経営理念 .....	8	しあわせ創造企業 .....	16
ビジョン .....	9	未来への行動指針 .....	17
ミッション .....	10	社会人に必要な基礎力 ..	18
バリュー .....	12	事業領域 .....	20
経営資源 .....	13	仕事の定義 .....	21
経営の基本方針 .....	14	品質方針・目標 .....	22



優先順位の行動	23
社員信条	24
チームナカザワ	26
幸せな家族づくり	27
健全経営の組織	28
報告・連絡・相談・確認	29
顧客満足の追求	30

顧客価値の追求	31
職業人の心得	32
会社の存在意義	34
会社の存在理由	35
共有価値創造経営	36
企業の社会的責任	37

# ナカザワグループ 社員の皆様へ

ナカザワグループの歴史は、私の父である中澤伸文が昭和55年(1980年)4月に大阪府岸和田市木材町に新建材店としてナカザワ建販を創業したことから始まりました。住宅建築資材の販売から、木造構造材やサイディングのプレカット加工、内・外装工事および住宅設備機器の施工まで、住生活環境の向上とお役立ちを目指し、多角的に安心・安全のサービスを提供してまいりました。2020年1月には、ナカザワホールディングスを設立し、各事業会社が専門分野においてより挑戦しやすい環境づくりを考え、グループ経営へと移行しました。グループを挙げて新しいことに挑戦し続け、新しいサービスを次々と生みだし、顧客満足度が高まり「ありがとう」をいただいた数だけナカザワグループの業務も拡大しております。これもひとえに皆様の日々の努力の賜物と心より感謝申し上げます。

今回の『社員の心得』の大きな改定ポイントは、ビジョンを「新しい価値創造の環境と流通をリードする」から「幸せと豊かさを共につくる」へ変更した点と、新たに、バリュー「笑顔」「誠実」「挑戦」を追加したことです。

“経営目的”の項は掲載をしない形となりましたが、ナカザワグループの経営目的は変わらず「顧客の創造」です。企業の目的とは価値を提供し、利益を出し、お客様に必要とされ、会社を存続させることです。しかし、利益は結果であって目的ではないと断言します。

利益が中心になると顧客志向にならず内向き志向になり、長期的なナカザワグループの成長は望めないと考えます。顧客の創造には、お客様に喜ばれる住生活の商品・技術・サービスの提供が必要です。私たちはお客様のニーズ（顧客価値）を捉え、より多くのお客様の要求に<sup>こた</sup>応える新しい価値を創造して“顧客の創造”をすることが、ナカザワグループとしての成長であり、経営目的であり、社会への貢献となります。

新しい『社員の心得』の改定箇所は他にもありますのでご熟読いただければと思います。これからも“チームナカザワ”としてナカザワグループの組織力を<sup>けっしゅう</sup>結集し、お客様から信頼され愛される企業であり続けるよう、常に喜ばれる付加価値を提供する「住生活環境の幸せ創造業」を追求してまいります。

毎朝の『社員の心得』の<sup>しょうわ</sup>唱和から得られる“気づき”を大切にしながら、日々新しい自分を発見する楽しさを、できるだけたくさんの仲間と共有いただき、全社員が「<sup>ぶっしんりょうめん</sup>物心両面の<sup>こうふく</sup>幸福」を高める職場を皆様と共に築いていきたいと考えております。

令和5年4月1日

ナカザワホールディングス株式会社  
代表取締役社長 中澤秀紀



# 経営理念

## 未来を見つめ、新しい価値を創造し、 幸せな家族、豊かな社会の実現に貢献する

未来を見据えた誠意と熱意ある仕事が、世の中に役立つ新しい価値を創造し、お客様の喜びと社員の笑顔やその家族の幸せを生み、社会からの信用・信頼が貢献となる。

“未来を見つめ”とは、私たちの可能性を信じる言葉。現在の能力をもって“できる、できない”を判断してしまっては、「新しい価値創造」などできるはずがありません。人間の能力は、努力を続けることによって無限に広がるのです。常に、私たちの持つ無限の可能性を信じ勇気をもって挑戦する行動が、私たちの経営理念です。

**経営理念は、  
迷った時や選択の決断を迫られた時の指針となる。**

どちらが…未来を見つめているか？

それは…新しい価値を創造しているか？

それで…本当にみんなが幸せになれるのか？

その仕事は…社会から必要とされる活動か？

ナカザワグループは、基本憲章<sup>けんしやう</sup>として「経営理念」を定めています。経営理念とは、事業の目的と活動の基本的な考え方であり、理念に基づき仕事を進めることは、時代の推移、事業規模や内容の変化に関わらず<sup>ふへん</sup>不変です。

# ビジョン

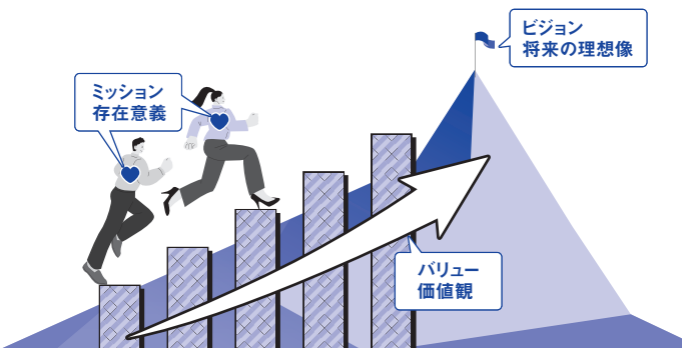
## 幸せと豊かさを共につくる

住生活の未来を<sup>はぐく</sup>育む新しい価値創造のパートナーとして、  
社会を幸せにする環境と業界の<sup>かいかく</sup>改革をリードする。  
仕事を通じて社会に役立ち、幸せと豊かさを共につくる。

経営ビジョンは会社成長への<sup>こころざし</sup>想いと志

想いは、住生活産業界で「日本一」を目指すことです。  
<sup>こころざし</sup>志は、顧客と共に私たちの「幸せな家族づくり」です。

安心・安全を基軸とし、顧客の<sup>こた</sup>期待に応える住生活環境の  
商品・技術・サービスの提供で<sup>ウィン ウィン</sup>Win-Winの関係を築く。  
取引先・地域の方々と協力をしてプロとして未来に向け共に  
成長するナカザワグループを創る。



経営理念:目指すナカザワグループ像

# ミッション

## 1 住生活環境の向上とお役立ち

## 2 活気あふれる職場環境づくり

持続的に成長するために、将来に<sup>わた</sup>亘って引き継<sup>ころざし</sup>げる志

### ミッション 1

## 住生活環境の向上とお役立ち

住生活環境の向上には、<sup>シーオーツー</sup>CO<sub>2</sub>削減など地球環境に貢献するお役立ちと、<sup>じゃくねん</sup>若年・<sup>せたい</sup>子育て世帯や<sup>あ</sup>高齢者が安心して暮らすことができる環境の実現や、既存住宅の流通と<sup>あ</sup>空き<sup>や</sup>家の<sup>りかつよう</sup>利活用を促進する住宅ストック活用型市場への<sup>しじょう</sup>転<sup>てん</sup>換が必要です。ナカザワグループは、住生活を<sup>かん</sup>支え強い<sup>にな</sup>経済を実現する担い手として住生活産業を活性化します。

「住生活環境の向上とお役立ち」とは、  
私たちグループの仕事そのものと考えています。

顧客は、私たちの会社と取引することに対し、  
何を望み？ 何を期待しているのでしょうか？

取引先として、「約束」を守り、  
仕事に役立つ商品・技術・サービスの提供を望み！  
進化する住生活産業のパートナーとして、  
お客様に喜ばれる安心・安全の環境提案を望み！  
共に勝ち残るための「信用」・「信頼」の<sup>きずな</sup>絆を  
築くことを期待しておられるのではないのでしょうか？

お客様の役に立ちたい創意と工夫が、  
人財の育つ環境をつくりイノベーションが生まれます。

## ミッション 2

# 活気あふれる職場環境づくり

経営使命「活気あふれる職場環境づくり」の目的は、  
“社員の、社員による、社員のため”の会社成長です。  
それには、お客様から見ての“差異”づくりが必要です。

### 差異(上質の追求) = 新しい価値創造

新しい価値創造とは、現状の商品(技術・サービス)価値に、私たちが創意して付け加える価値です。その付加価値は、他社との品質・技術・サービス等の“差異”であり、それは優れた顧客満足を生み出し、顧客の喜びを追求する熱意の結果、私たちの価値創造となるのです。

### 仕事場での“差異”づくり

(お客様や現場を思いやる具体的な行動が大切です)

- 1 お客様や周りの皆様に、キッチリと元気な挨拶をする
- 2 顧客、上司の話をしっかりと聞き、行動し、報告する
- 3 仕事に対する創意工夫や発想をチャレンジ・実践する
- 4 5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を継続する
- 5 能力アップと、人時生産性向上で目標達成に貢献する

### ナカザワグループの“上質の追求”

- 1 お客様から好意的に認められる良い「社風」を高める
- 2 相手に伝わる「会社の付加価値」・「ブランド」を創る  
活気あふれる職場環境づくりが、会社の成長性を高める。

# バリュー

## 笑顔 | 笑顔がつなぐ仲間の輪

「笑う門には福来る」笑顔の周りにはたくさんの仲間が集まり、優れた知恵や情報を収集することができます。笑顔は人を幸せにし、自身の幸福こうふく感も高めます。心の充実が、高いパフォーマンスの発揮につながります。

## 誠実 | 感謝と信頼を生む行動

素直で真面目に物事と向き合う姿勢を持ち続けましょう。そのような実直な姿によって、人としての魅力が高まり、たくさんの「ありがとう」の言葉や感謝が生まれます。感謝から生まれる行動は周囲からの信頼につながります。

## 挑戦 | 一歩目を踏み出す勇氣

どんな小さなことでも、失敗を恐れずに到達すべき理想の状態えがを描き、挑戦することを心から楽しみましょう。挑戦して得た体験も、挑戦する仲間への応援も、すべて大事な学びの機会となり自己成長へとつながります。



笑顔

誠実

挑戦

バリューとは、大切にしておきたい  
共通の価値・考え方の軸

# 経営資源

## 「人財」が全てです。

“ヒト”“モノ”“カネ”や“情報”が、企業の資源と  
言われていますが、私たちの会社では、人財で扱う商品  
が決まり、人財の行動で、目的や目標、ビジョン実現  
の成否せいひが決まり、人財によって幸せな家族づくりの企業  
風土ふうどが培つちかわれると考え、「人財」が全て、と明言します。

社員は会社の宝です。会社は誠意と熱意はいしゆつあふれる創造  
力豊かな、自立した人財を継続的に輩出し、社員満足まんぞくの  
追求と、顧客と共に住生活環境の向上に貢献いたします。

皆様の個性そんちようを尊重し、一人ひとりの強みや持ち味を  
活かしたキャリア形成や能力開発の仕組みを整え、計画的  
に育成していきます。そして、福祉環境充実と正しい  
評価体制すいしんの構築を推進し“やりがいのある仕事がしたい”  
“仕事を通じて自己実現をはかりたい”といった社員の  
想いやコミュニケーションを活性化、長時間労働げんじ是正と  
私たちのワーク・ライフ・バランス実現を目指します。

私たちは、社員そんちようの多様性、チャレンジを尊重し、一人  
ひとりが自ら考え、その無限の能力開発と新しい価値を  
創造して、自己実現はかを図ることができる企業風土ふうどを造り  
ます。仕事と家庭の調和に配慮し、安心して能力を発揮  
できる快適で働きやすい環境と、全社員の「物心両面ぶつしんりょうめんの  
幸福こうふく」の追求を高める職場を皆様と共に築き実現します。

# 経営の基本方針

社員の知恵を集め、  
新しい価値を創造して、健全経営を目指す

会社とは、過去から現在までの姿、日々の売上・利益、日々の経費、日々お客様への役立つ行動の積み重ねです。

経営とは、<sup>こころざし</sup>現在から未来への志

顧客の為に、新しい価値と高い品質の商品とサービスを  
社員の為に、働きがいのある職場と公正な評価と機会を  
社会の為に、地域の一員として責任を果たし相互信頼を  
株主の為に、企業として誠実で信頼に<sup>こた</sup>える健全経営を

## 1 ガラス張り経営に徹する<sup>てっ</sup>

会社の経営方針や中長期計画、目標に対する業績の実態が見える化して適時・適切に社内外に公開していきます。

## 2 全員参画の経営に徹する<sup>さんかく</sup><sup>てっ</sup>

社員・幹部・役員は<sup>さんみいったい</sup>三位一体で経営に<sup>さんかく</sup>参画し、仕事の役割の中で目標に向い力闘<sup>りきとうこうじょう</sup>向上して事業成果を拡大します。

## 3 成果配分の経営に徹する<sup>てっ</sup>

各部署や担当業務に対する正しい評価と会社業績の成果を明快なルールで各部署や社員個々に公平に配分します。

経営の基本方針が目指す目的  
「社員の幸せ」・「会社の成長」・「豊かな社会の実現」

# 基本コンセプト

私たちが追求する、物事の本質や未来<sup>とら</sup>を捉える思考

「フリー」…自由な発想で物事を考える

「フェア」…公平に物事を評価する

「グローバル」…広い視野に立って物事を見る

「フリー」多様性は会社の力です

個人の能力・価値観<sup>みずか</sup>・経験・仕事スタイルなどの個性を尊重し、全社員自らが考え行動できる組織を指向する。全員が同じようにという価値一元主義<sup>いちげん</sup>は、弊害<sup>へいがい</sup>と考える。

「フェア」機会平等を徹底する

全社員が公平に機会を持てるようにする。やる気があるのに、性別、学歴、経歴、肩書、国籍、容姿、経験などを理由に仕事への挑戦のチャンスを閉ざすことはしない。

「グローバル」広い心で経営を考える

地球環境や社会を良くする取組みと共に住生活の発展に貢献することが会社成長に繋<sup>つな</sup>がると信じ、正しいことを考え、すべての業務を素直に進化させる心で経営をする。

**仕事は、常に「選択」と「集中」して行動する**

自社の得意な事業領域と仕事の定義を明確に選択して、経営資源を集中し、品質目標の成果を出す為<sup>ため</sup>に行動する。

**私たちの人生や仕事の未来(成果)は、  
考え方と熱意と能力の三つの要素の掛け算で決まります。**



# しあわせ創造企業（考え方）

「しあわせ創造企業」とは、ナカザワグループが過去の経験をもとに共有してきた経営理念・目的・基本方針等の理念体系をより素晴らしく変革するための鍵となる“共通の意味づけ”であり、社内への改革だけでなく、グループが社内外に発信する新しい企業文化の創造です。

幸せとは、“仕事も楽しく、生活も楽しく”そして、周りの目からも“心を和ませる”状況であると思います。しかし、幸せも不幸せも、運も不運も、私たちの想いや言葉によって様々な現象となります。暗いこと、嫌なことに焦点をあてれば、さらなる不幸を招いてしまいます。

明るいこと、幸せなこと、に焦点をあて、“楽しい”“しあわせ”と思えば、幸せや良運が呼び込まれます。

## 私たちが「しあわせ創造企業」へ変革するために

「相手よし・自分よし・みんなよし」三方よしの取組で  
★社会に貢献し、人を幸せにする理念の想いを浸透させ  
★お客様、社会に無限の価値と感動提供を推進力にして  
★失敗を恐れない挑戦の心で創造の企業文化を醸成する

## “お客様に必要とされる会社”であり続けるために

- 1 仕事を好きになり、明るく元気に前向きに行動をする
- 2 会社のあるべき姿を明確に、三位一体の協力で頑張り
- 3 上下左右の壁を無くし、適切な人財で具体策を進めて
- 4 お客様が満足する、商品・技術・サービスを開発する

# 未来への行動指針(熱意)

未来という言葉には、“これから良くなる”という希望的な意味と“この先は分からない”という、不安を併せ持っています。だから私たちは現状を把握し、三位一体の熱意で将来を考え、「幸せ創造と成長」に向け行動をする。

## 行動指針10カ条

### 1条. 創造と挑戦(何もしないことが最大のリスク)

★失敗を恐れず、仕事に志とロマンを持ち行動をする

### 2条. 未来のため、今できることから全力で取り組む

★今できる行動が、未来の社会や会社を変えていく

### 3条. 法律・社会規範を遵守し、公正な企業活動を行う

★オープンでフェアな活動を通じて社会の信頼を得る

### 4条. 未来に向け、明るく元気に、勇気と希望を持つ

★人は勇気を出した回数だけ成長する。逆境に立向う

### 5条. 社員が大切に思う「働きがいのある会社」創り

★多様な価値観や個性を尊重するチームナカザワづくり

### 6条. 現在の状況と顧客を分析し、未来客を獲得する

★的確なマーケティングによる、新しいニーズの開拓

### 7条. 将来が展望できる、夢ある中長期経営計画作成

★経営計画の作成責任は社員・幹部、達成責任は社長

### 8条. 生産性・収益性を高め、発展と社会還元を図る

★売上・利益率UPで会社の永続発展と未来への投資を

### 9条. 地域の文化・習慣に調和し、良き企業市民となる

★働く一人ひとりが地域に根ざした意識と行動をする

### 10条. 打つ手は無限(諦めたら打つ手は出てこない)

★知恵を振り絞り、考え抜けば新しい道が開けてくる

# 社会人に必要な基礎力(能力)

「社会人に必要な基礎力」とは、“前に踏み出す力” “考え抜く力”、“チームで働く力”の3つの能力で構成され、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために、私たちが活用しなければ成らない必要な力です。

## 前に踏み出す力(アクション)

創造や挑戦に一步前へ踏み出し、失敗しても、粘り強く取り組む力として「主体性」「働きかけ力」「実行力」を要素に構成されている。指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動できるようになることを目指す。

## 考え抜く力(シンキング)

私たちの使命や品質目標達成に向け、考え抜く力として「課題発見力」「計画力」「創造力」で構成され、通常“考える”には論理性の要素が取り上げられがちですが、社会人基礎力においては、決まった答えを導き出すこと以上に、自ら課題を提起し、解決のためのシナリオを描く、私たち自身の自立的な思考力の獲得を優先します。

## チームで働く力(チームワーク)

自社だけでなく様々な人達と共に目標に向けて協力する力として「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」「規律性」「ストレスコントロール力」で構成される。グループ内の協調性だけに留まらず、多くの関係者との繋がりや協働を生み出す力を目指し、能力開発の進路を示す、これが社会人基礎力の大きな目的のひとつです。

## 必要な12の能力要素

私達の人財育成には、12の能力要素と専門知識が必要!

### 1 主体性(自ら物事に進んで取り組む力) みずか

★様々な状況下においても自分の意志や判断で行動する。

### 2 働きかけ力(他人に働きかけ巻き込む力)

★目的を明示し、仲間をやる気にさせるリーダーシップ。

### 3 実行力(目的・目標を設定し確実に行動する力)

★決めた計画を実際に行い、結果を出すことができる。

### 4 課題発見力(現状を分析し目的や課題を明確にする力)

★常に「どうすればより良くなるのか」を考え、明確に。

### 5 計画力(課題解決のプロセスを明らかにし準備する力)

★最良の計画を立て、それを遂行すいこうするための準備をする。

### 6 創造力(上質を求め、新しい価値を生み出す力)

★現場や仕事の工夫・改善かいかく・改革も新しい価値創造です。

### 7 発信力(自分の意見をわかりやすく伝える力)

★自分勝手に進めるのではなく、周まわりの理解と確認が大切。

### 8 傾聴力(相手の意見を丁寧ていねいに聴く力)

★相手の話を中心に対話を進め、聞き役てっに徹しましょう。

### 9 柔軟性(意見の違いや立場の違いを理解する力)

★異なる価値観の人と話をすると、新しい発見がある。

### 10 状況把握力(周囲の人々や物事の関係性を理解する力)

★「自分さえ良ければいい」の狭い心の考えを持たない。

### 11 規律性(社会・会社のルールや人との約束を守る力)

★約束を守れない状況の時の「対応」が規律性では大事。

### 12 ストレスコントロール力(ストレス源げんに対応する力)

★自分に合ったメンタルケアの工夫、周囲を頼る方法も。

# 事業領域

## 住生活環境の幸せ創造業

“<sup>まわ</sup>周りの皆様の喜びがあって、私たちも幸せになれる”

ナカザワグループは、住生活の商品・技術・サービスの安心・安全な提供活動を含め、事業全体で環境への負荷を限りなく軽減すると共に、お客様や社会と、私たちの幸せを目指す「住生活環境の幸せ創造業」を追求する。

## 住生活環境(住生活環境の向上とお役立ち)

住まい、生活、地域社会貢献のためCO<sub>2</sub>削減や無駄をなくし地球環境に配慮した企画・商品・施工を提供する。

## 幸せ創造業とは

今後の住生活市場は、新築住宅の着工規模縮小、大工・専門技術者の不足、法規制の厳格化から住宅流通やサービス業を中心に「持続可能な循環型社会」に移行する。しかし、どのような社会になっても、お客様の“満足”や“便利さ”といった価値を提供すると、お客様は必ず「ありがとう」と言ってくれます。「ありがとう」の言葉は私たちにとって最高の喜びであり、これが幸せ創造の原点です。新しい社会で顧客から「ありがとう」を言って頂くには、社員皆様の知識・知恵が必要です。成長のための人財育成の仕組みと、謙虚に一人ひとりが学び、共に学ぶ心が、私たちの成長とグループ発展の源泉です。社員さん一人ひとりの人生、家族を、更にこの社会とおお客様の幸せを導く「幸せ創造業」であるために。

# 仕事の定義

お客様から必要とされ、役立ち、喜ばれる為の行動力。

## 自社がターゲットとする顧客

★住生活環境の向上と新しい価値創造を目指す創り手

## 自社の顧客となり得る存在地域

★大阪府を中心とした近畿全域及び必要とされる地域

## 顧客が存在する業界

★住生活環境向上を必要とする住生活産業、一般消費者

## 商品・製品・技術・サービスの分野と範囲

- ★住生活の企画から販売・物流・工事・製造等に携わるたずさ
- ★住生活環境の向上に関わるソフトから設計・省施工・しょうせこう検査までの顧客創造と顧客満足を追求する提案と提供

## 提供する商品・製品・技術・サービスのグレード

- ★お客様の求める信頼と期待にこた応える、住生活環境の確かな商品、安心の建物と信頼の技術・サービスを提供

## 仕事の基本姿勢

私たちの仕事内容も、事業領域も、仕事の定義も、モノ中心の時代から、コトへ付加価値が変化していく中で、顧客の要望や新しい技術開発によって変革していきます。しかし、お客様に新しい価値を創造し、顧客満足と社員満足ふへんの追求、ナカザワグループ成長の姿勢は不変です。

# 品質方針・目標

ナカザワグループは、お客様に満足感・信頼感・安心感を提供できるように顧客側の視点から、品質とサービスのさらなる向上を目指しています。お客様から最も信頼される新しい価値創造のパートナーであり続けることは、私たちにとって顧客に対する最大の目的であり使命です。

ナカザワグループの品質方針は

- 1 顧客と組織に対し安心・安全を第一に行動する。
- 2 組織の信頼を築き業務の生産効率向上を創造する。
- 3 お客様の信頼に<sup>こた</sup>応える上質の品質・スピード・サービス<sup>とう</sup>等の価値を提供する。
- 4 持続可能な開発目標（SDGs）<sup>エスディージーズ</sup>への取組みを通じて地球環境に<sup>はいりよ</sup>配慮した「住生活環境の向上とお役立ち」の商品・技術・サービス<sup>すいしん</sup>を常に追求し推進する。

品質方針は、品質マネジメントシステム（ISO9001）<sup>アイエスオーキュウセンイチ</sup>に準拠<sup>じゆんきよ</sup>したPDCAサイクルによる継続的な改善の社内体制でお客様の要求に<sup>こた</sup>応え顧客満足向上と業績アップを目指す。

ナカザワグループの品質目標は、

- 1 <sup>ていりょう</sup>定量目標として事業会社・部署ごとに設定する粗利益。
- 2 <sup>ていせい</sup>定性目標として人事考課や業務計画に基づく個人目標。

品質目標は、品質方針や品質目標の重点策を明確にした年度ごとの経営計画と整合し“何としてでもやる”という強い気持ちと、目標達成に向けての熱意ある行動が大事。

# 優先順位の行動

**“私たちの行動には、必ず優先順位があります”**

ナカザワグループの一番の優先順位は、  
**顧客と組織に対し安心・安全を第一に行動する。**

**人の命や危機に結びつくことに対しては、何事よりも優先して、緊急に取組み、行動することを求めます。**

グループが大事にする二番目の優先順位は、  
**★部署・チームの皆様が担当する品質目標の達成です。**

目標達成には、目先の損得そんとくを追うのではなく、長い目で見、お客様の信頼こたに応える活動が、結果として目標を常に達成することができる重要な行動と理解しています。

目標達成の利益が、会社を維持管理する費用や人件費になり、成長のための設備投資や社員教育費、万が一の危機にも対応できる、会社運営すべての源泉げんせんになります。

**安全も、約束も、利益も、品質も、健康も大事です。  
お客様も、ご家族も、社員の皆様も本当に大事です。**

## 優先順位の行動で、大切なことは!

その時、その場の状況から判断して、何が正しいか？  
私たち自身が考え、“**大事なことを優先**”する決意が、  
人生も会社の職場も良くなると思い行動することです。



# 社員信条

## 基本的考え

私たちの会社は、住生活市場<sup>しじょう</sup>の商品・技術・サービスを提供する事業活動を行い、顧客の信頼と好評を得ることで成り立っています。そのために、お客様からの如何なる要請<sup>ようせい</sup>にも速やかに<sup>すみ</sup>応える役割と体制を創<sup>こた</sup>っておく必要があります。そこで、まず私たちは一人ひとりが責任ある仕事をしており、一人でも欠けると仕事は円滑<sup>えんかつ</sup>に進んでいかなないことを認識して行動しなければなりません。

## 仕事の心得

私たちは、お客様との「約束」と環境に役立つ安心・安全な「商品・技術・サービス」を提供することが最も大切な使命と考え行動します。私たちの会社が顧客と共にする仕事は、ご利用される方や、お住まいになるお施主様のために心を込めたサービスを提供することです。

## モットー

- ★私たちは、「信用」を大切に考えて仕事をします。
- ★一番は、お取引先様との「約束」を守ることです。

## 心構えと行動ステップ

- 1 私、ナカザワグループで働くことに誇りを持ちます。
- 2 いつも周りの皆様<sup>まわ</sup>に、心から元気なあいさつをします。
- 3 私たちの顧客は住生活環境の向上とお役立ちを目指す創り手です。お客様に喜ばれる住生活の商品・技術・サービスを提供することが、私たちの役割で仕事です。

私は、お客様や現場、社会に役立つ仕事をいたします。

私は、仕事に最善<sup>つ</sup>を尽くし、自らの人生と家族に豊かさ<sup>みずか</sup>と喜びをもたらします。

私は、仕事や行動の基本は健康第一と考え、自分の体調をしっかりと管理します。

私は、社員同士のニーズを満たす、コミュニケーションのある職場環境を築きます。

私は、住生活環境に配慮<sup>はいりよ</sup>した品質と良質なサービスを追求する機会を常に求めます。

私は、仕事の身だしなみ、言葉づかい、ふるまいに誇りを持ちキッチリと行います。

私は、お客様や会社の機密情報について、プライバシーとセキュリティを守ります。

私は、関係する組織の会議や将来の事業<sup>こころざ</sup>を志すプロジェクトに積極的に参加いたします。

私は、組織の信頼と目標達成に向け、業務の生産効率向上を目指すという自分の役割を理解し行動します。

私は、お客様や現場の問題・相談を自分のものとして、  
問題点は何か？ 問題の原因は何か？  
お客様にとって望ましい解決策は何か？  
を考え、直ちに信頼<sup>ただ</sup>に<sup>こた</sup>応える解決を目指します。

私には、常に学ぶ機会と、成長するチャンスがあります。

私には、住生活環境の向上とお役立ちを目指す、「良質顧客」と取引する権限が与えられています。

私には、自分の周り<sup>まわ</sup>をいつも清潔に保ち、安全で事故のない「しあわせ創造企業」を築く責任があります。

# チームナカザワ

私たちの会社では、一部の経営陣だけで経営を考えるのではなく、「**全員参画の経営に徹する**」ことを経営の基本方針で謳っています。幹部の皆様を中心に、仲間のために尽くすという同志“チームナカザワ”としての繋がりをもって、みんなのためにより良い仕事を進めていくことが企業としての成功に欠かせない大切なことです。

## 企業が成功するための三原則

1. 絶対条件・・・経営理念の確立と浸透（50%）
2. 必要条件・・・社員を信じて任せる（30%）
3. 付帯条件・・・経営計画の戦略・戦術（20%）

私たちには素晴らしい経営理念や理念体系が確立されていますが、万全の社内体制を目指すには、経営理念を浸透させることが重要です。そのためには中長期経営計画書作成を“チームナカザワ”を中心に信じて任せる。事業方針から戦略・戦術、そして目標設定も全て任せる。

**社内に“チームナカザワ”の和がないと、お客様に喜んでいただく商品・技術・サービスの提供はできません。**

このことを忘れず、常に周囲へは感謝の気持ちで接し、お互い信じ合える仲間“チームナカザワ”となって仕事を進めていくことが大事です。ナカザワグループが今日あるのは、お客様や取引先様はもちろん、職場の仲間や家族といった周囲の多くのご支援があるからこそです。

# 幸せな家族づくり

「幸せな家族づくり」とは、  
私たち(自分)の成長への想いと志こころざしの行動です。

経営者の想いは、会社の成長・発展を目指すことです。  
志こころざしは、社員の皆さまと共に「幸せな家族づくり」です。

夢(幸せな家族)こころざし かなや志を叶える

「挑戦や創造」が私たち自身の意志と考えると、  
仕事に対する姿勢も自分の人生への心構えも変わります。

自分でなければ夢見ることの出来ない人生や仕事の花を、  
皆さまに、咲かせていただきたいと願うのが、経営者の役目。

人間の究極の幸せは下記の4つと言われています

- 1 人に愛されること
- 2 人の役に立つこと
- 3 人にほめられること
- 4 人に必要とされること

人に“愛されること”以外の“役に立つこと、ほめられること、必要とされること”は、働くことで得られます。

“はたらく”とは“傍はた(周)まわり)を楽にする”ことです。  
会社を信頼し、社員として日々成長して、仕事を通じて  
多くの人“役に立ち”、お客様から“ほめられ”、社会  
から“必要とされる”、幸せを自分と顧客と家族に与え、  
社会に対して誇りを持って仕事を続ける、夢多き新しい  
発見の毎日「幸せな家族づくり」が、私たちの幸せです。

# 健全経営の組織

仕事は個人で行いますが、周りの仕事との密接な関連性を持っています。その仕事の流れを良くするために、三位一体の良好な協力関係で働くことが健全な組織です。

組織が満たすべき要件

★組織として、経営理念浸透と役立つ人財育成を行う

★組織として、年度目標の業績達成を継続して目指す

★組織内の人間関係を良好に保ち、“明るく”“元気に”

★組織として、仕事に役立つ工夫や改善を考え実行する

★組織内の管理階層を必要最小限に、指示系統を最短に

私たちの組織は、“お客様に喜ばれる住生活の商品・技術・サービスの提供”するため、顧客ニーズに<sup>こた</sup>応える安心・安全な「新しい価値」や「新しい知識」を適用できる、良い仕組みに変化(新しい組織構築)すべきです。

顧客から求められる要望が変われば、それに<sup>こた</sup>応える新しい形態に<sup>かいかく</sup>改革する健全な組織にしなければなりません。

組織を健全に変化・<sup>かいかく</sup>改革する方法

- 1 組織として継続的に商品やプロセスを改善する
- 2 管理的な新しい組織や付加価値を常に開発する
- 3 組織を<sup>かいかく</sup>改革するためのイノベーションに取り組む

ナカザワグループの目指す健全経営の組織とは、外部環境に合わせて変化・<sup>かいかく</sup>改革していく組織の事です。

## 報告・連絡・相談・確認

信頼は黙っていても、得られることはありません！

- 1 報告は社内活性化の第一歩であり対話の出発点です。
- 2 進んで行う報告・連絡・相談は社内関係を良くします。
- 3 仕事上必要と思われる情報は上司・部下・会社に報告・連絡・確認することが義務です。
- 4 義務の報告・連絡・確認とグループを想う気持ちから出る自発的な報告・連絡・相談・確認があります。
- 5 重要な情報は第一線の人達が持っている生の情報です。  
生の情報は経営の上で最も参考にできる良い報告です。
- 6 ミスや悪い事を報告するには勇気が必要です。しかし、よい報告だけが送られてくる会社組織は必ず問題が出て、結果的に弱体化じゃくたいかします。私たちの会社は常に勇気と決断を持ってより良い方向への改革かいかくを目指します。
- 7 仕事の報告や情報の連絡を多くすれば、自然と新しい情報も入り、お客様や上司との信頼関係が深くなり、周りの皆さまとのコミュニケーション能力も生まれ、自己規制力が高まり、仕事に対する意欲も向上します。
- 8 仕事上で困ったことが起きたら、まず自分で解決しようとするのが大切です。しかし、それが困難なときは、報告したときから本人と共に会社の責任となります。つまり、報告・相談は自分の悩みと不安を上司と共に会社に半分引き受けて貰もらう最上さいじょうの手段なのです。

**“チームナカザワ”の報告・連絡・相談・確認は、上記を自分で考え、言葉とし、行動して伝えるものです。**

## 顧客満足<sup>とう</sup>の追求

私たちの会社は、商社や生産メーカーから商品を購入して販売し、現場まで配送する企業という側面に加え、プレカット加工、住宅・大型木造建築・内外装工事、不動産、設計、ソフト、保険等の仕事を引き受けています。しかし、会社の本質は何かといえば、顧客に上質の価値を創造して提供する、付加価値提供業と理解しています。

経営目的の「顧客の創造」、お客様に喜ばれる住生活の商品・技術・サービスを提供の“お客様に喜ばれる”部分が私たちの付加価値提供であり、それを達成する為の仕組みが「顧客満足<sup>とう</sup>の追求」でなければなりません。顧客満足度を高めるためには、**ナカザワグループの新しい“価値創造”と、お客様に“喜んでもらいたい”という社員の高いモチベーションによる行動が欠かせません。**

だからといって、

お客様の要求は、全て満たさなければならないか？

の問いに対する、私たちの答えはノーです。

- ★担当者から見て、絶対に無理な要求（できないこと）
- ★法律違反、お客様や住生活環境のためにならない要求
- ★ナカザワグループの経営理念や理念体系に外れること

社員のやる気、社員のやりがいのある行動があって、お客様に満足感を提供し、顧客に喜ばれる価値創造から品質の信頼・安心感の向上による顧客満足が生まれます。

## 顧客価値の追求

顧客価値の追求とは、お客様が思っている価格以上の「価値」ある新しい商品・技術・サービスの提供により、顧客の価値観に“驚きの良い変化”をもたらすことです。

★お客様が感じる価値（上質の追求）が大きく

商品 + スピード + サービス + 従業員 + 環境 + ブランド  
価値 + 価値 + 価値 + 価値 + 価値 + 価値

★コストが小さいとき＝「新しい価値創造」

金銭的 + 時間的 + エネルギー + 心理的  
コスト + コスト + コスト + コスト

驚きの良い価値を創造するには、新しい価値（商品・技術・サービス）創造の知恵と業界の流通改革やIT等かいかく アイティーどうを利用する新しい市場環境しじょうを創り出す能力が必要です。ナカザワグループが顧客価値を追求するには、持続可能な循環型社会じゅんかんがたしゃかいへ向かう住生活産業しじょうの市場において、お客様の住生活環境改善の為に、ZEHや新しい企画提案と大胆なマーケティングの実行が有効に働くと考えます。

★顧客満足に導く新しい技術・サービスへの取組み

★CO2削減シーオーツと環境に良い新しい価値創造しじょうに取組む

★良質を生み出す工場と、新しい市場創造への投資

顧客価値の追求には、良い価値を生み出す「人財」が必要であり、経営理念や理念体系に根ざした「会社の良い社風・企業文化」からの信用・信頼がとても重要です。



# 職業人の心得

朝の挨拶は、心から元気よく「おはようございます」

私たちが従事する住生活産業は、住まいと生活の基本“しあわせ”の原点である家族の最も重要な基盤を担っています。職業人として、能力を伸ばし自分の夢を実現させる為に“誇り”を持って仕事に取り組みましょう。

## 1 愛される人になろう

事業は人間関係の調和が肝要です。組織の一員として、上司、同僚との関係を円満に保つと共に、世間の人から親しまれ、愛される人にならねばなりません。そのため常に礼節を重んじ、誠実で謙虚な心構えを持ち、相手の立場に立って考えられる心のゆとりを持ちましょう。

## 2 信頼される人になろう

事業は人なりといわれます。公明正大に表裏の別なく業務遂行に当たると共に、謙虚な態度と公正な判断を持って顧客のニーズにこたえ、約束を守り、私生活に於いては清廉な生活態度を堅持し、一人ひとりが世間の信頼を得るに足る社会人になるように心がけましょう。

## 3 プロフェッショナルになろう

企業の強さは、それぞれの分野にプロフェッショナルがどれだけ揃っているかにかかっています。このため、一人ひとりがそれぞれの持ち場で創意工夫を行い、研鑽を積み、自分の価値を高めるように努力しましょう。

#### 4 チャレンジ精神を持つ

事業は日々あらに新たなり。時代びんかんの変化や動きを敏感とらに捉え、積極的ようせいに新しい時代こたの要請に応え、更に進んで時代の先駆者せんくしやとなるように心掛けて行かねばなりません。そのため、日々の仕事で常に「新しい価値創造」を生み出すように、果敢かかんなチャレンジ精神を持ち続けましょう。

#### 5 お客様第一の姿勢を持つ

事業は全てお客様があって初めて成り立つものです。お客様の信頼と好評を得ることが企業存続そんぞくの基盤きばんをなすものです。このため、仕事に対する取組み方が直ちにお客様の心に響くということを理解し、常にお客様の側ただに立った姿勢、考え方を忘れずに業務を行いましょう。

#### 6 規律を守ろう

事業とは規律正しい秩序ちつじよのもとに於いてのみ、組織体おとしての真価しんかを発揮することができます。規律の順守は社会人としての根本要件こんぽんようけんの一つであります。このことを深く認識し、社会や組織ルールを尊重そんちようすると共に整然たる職場秩序ちつじよを形成するように心がけ守りましょう。

きょういちにち  
今日一日、計画的に業務を進めることが出来たか？

職業人として、正しいことを当たり前続ける社員・幹部の多い会社から、顧客満足や顧客価値を心から追求する実力クオリティーと成長カンパニーが伴うQuality Companyが生まれます。

## 会社の存在意義（創業からの歩み）

私たちグループの志（こころざし経営使命）の活動のために、経営理念に基づき仕事を進め、経営目的「顧客の創造」による会社の成長がナカザワグループの存在意義です。

存在意義を達成するためには手段（事業領域）が必要であり、事業領域のへんせん変遷がナカザワグループの歴史です。

創業（1980年）のときは、  
建材や合板ごうばんを取扱う「**新建材店**」からスタートしました。

バブル期（1990年）からは、新規顧客の開拓と取扱商品を増やすことが“顧客の創造”と“会社の成長”に繋つながると考え「**住宅資材の総合商社**」を事業領域として活動。

阪神大震災（1995年）後は、積極的に海外から木材や合板ごうばんを直輸入、新しい工法や工事に力を入れ「**住宅産業の改革・革新流通業**」を目指し、フレーミング工事や住宅の施工。プレカット工場や支店・物流センターを設立。

2006年住生活基本法成立、業界全体が住宅産業から住生活産業に変わり、我々も「**住生活支援業**」を目指す。更に、環境負荷の軽減に対する意識が大きくなり、2010年から環境を加え「**住生活産業の環境推進流通業**」としました。

2017年から「**住生活環境の幸せ創造業**」、働き方改革かいかく”や成長に向け“グループ多角化事業経営”に取り組む。

# 会社の存在理由

企業とは、社会に存在する課題を解決する機関です。世の中には様々な問題が山積さんせきしており、その分、時代の変化と共にチャンスも広がります。会社経営とはそうした課題をどのように解決するか？具体策じっせんと実践への取組。

今後の住生活市場しじょうは、少子高齢化から人口減少が進み新築住宅の大幅な縮小と、莫大ばくだいな住宅ストック活用という課題を抱え、施工技術者の減少が進み、改善策が必要。

**私たちの存在理由は、  
前向きな心の意志とお客様から必要とされる役立ちの行動。**

心の意志とは、顧客や社会の役に立ちたいと願う意志があれば、現場や現状の様々な課題を解決する具体的な工夫や知恵が生まれ、「持続可能な循環型社会じゅんかんがたしやかい」への対応に必要な行動力が新しいビジネスチャンスになります。

**ナカザワグループの存在理由とは  
お客様や社会に新しい価値創造と感動を提供し  
グループの社会的存在価値を創り  
住生活市場しじょうの「環境向上」と「社員の幸せ」への貢献**

これからのナカザワグループの道筋みちすじ  
“三方よし”の心構えで「しあわせ創造企業」を目指し、  
“三位一体経営さんみいつたい”で「未来への行動指針」に取り組み、  
広く世間の声に耳を傾け、新企業文化を醸成じょうせいし創造する。

## 共有価値創造経営（未来に向け）

共有価値創造経営とは、ナカザワグループの共有価値と社会価値の向上を目指し、“商品・技術・サービス”“バリューチェーン”“地域コミュニティ”の3点を再定義する手法。つまり、グループの持つビジネスモデルの端々を見直し、収益性を確保しながらも社会価値を生み出していこうとする、「住生活環境の向上とお役立ち」の視点が含まれているソーシャルビジネスになります。

住生活産業の社会問題や課題解決に向けた取組みを進めることで、グループの社会的価値や企業価値をより高め、お客様の幸せと、「顧客の創造」を目指します。

### バリューチェーンのパートナー戦略

長期的な視点から、自社のビジネスにとって必要不可欠な商材・技術・技能者育成の取組みが、同時に、住宅・建築物の省エネや住宅ストック循環支援に繋がり、顧客の発展にも貢献しているというパートナー戦略を進める。

### 地域コミュニティの開発

今までのグループ事業形態（B to B）だけでなく、消費者の立場に立った、求める人に求めるものが届くような取組（B to B to C）を目指す。顧客が消費者に提案できる公平な仕組みと住まい全般に関わるコミュニティの開発です。

**住生活産業界が直面する最も困難な課題を解決する為に働くことが、グループの持続可能な解決策を導きだす。**

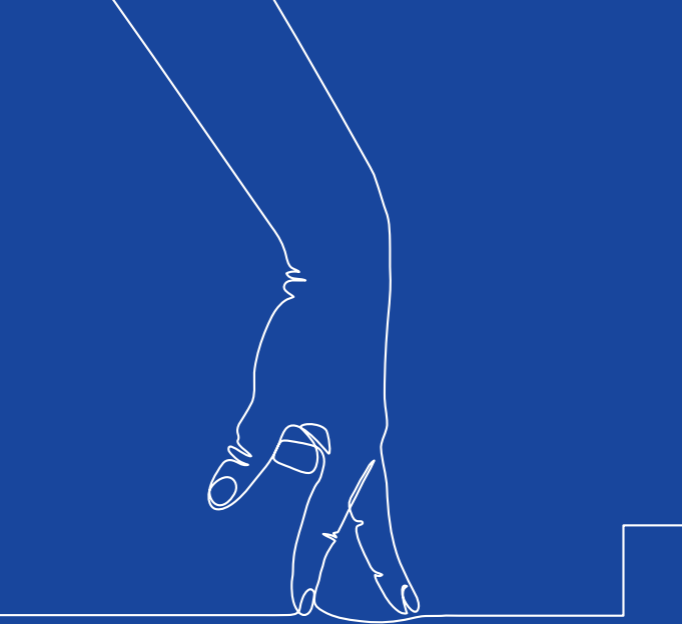
# 企業の社会的責任

企業の社会的責任とは、自社が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任を持ち、あらゆる取引先からの要求に対して適切な意思決定をすることを指します。自社の経済活動にはステークホルダー<sup>ようじん</sup>に対して説明責任があり、説明できなければ社会的容認が得られず、信頼のない企業は持続できないとされています。

ナカザワホールディングス及びグループ各社は、たとえ社名が変わっても同じ経営理念<sup>かか</sup>を掲げ、グループ企業も含め「社会の公器<sup>こうき</sup>」です。法令遵守<sup>じゆんしゆ</sup>のもと“未来を見つめ、新しい価値を創造し、幸せな家族、豊かな社会の実現に貢献する”という理念<sup>のつと</sup>に則り、住生活の未来<sup>はぐく</sup>を育む新しい価値創造のパートナーとして、お客様に喜ばれる住生活の商品・技術・サービスの提供を通じ、新しいライフスタイルのご提案を続けていきます。そして地域社会、地球全体の快適や幸せのために「地球環境との共存」を考えた、新しい価値創造の取り組みを進めてまいります。

これらはすべて、「住生活環境の向上とお役立ち」・「活気あふれる職場環境づくり」をグループ全体<sup>すいしん</sup>で推進し、社内外に向けて積極的に発信することにより、社員一人ひとりの力<sup>けっしゆう</sup>を結集させ、経営理念<sup>じっせん</sup>を実践し、社会の幸せに貢献する企業文化を創造していく決意の表れです。

**私たちと社会がともに成長し、誰もが安心・安全で  
豊かな暮らしが実感できる成熟した社会を創造いたします。**





「社員の心得」とは



「社員の心得」とは

仕事の向上と経営理念の浸透

仕事とは

経営理念の現実化

経営理念とは

社員の幸せと会社成長の追及



# 社員の幸せとは

仕事が好きで、最低限の生活は保障されている



安心だけどつまらない

社会・家族から本当の信頼・尊敬<sup>そんけい</sup>は得られない



充実感、  
生きがいのある  
毎日

お客様、  
社会から  
感謝される

家族が  
誇りに思う  
健全な成長

生きる喜びを心から実感する生活



社会から必要とされている実感

「幸せ」とは、  
<sup>まわ</sup>周りを幸せにする努力そのもの



## 働く目的とは

人の役に立ち、社会に貢献することで  
自己の社会的存在価値を創り  
感動のある充実した人生を送ること

1

### 自己実現

自分の夢に向かって、自己の  
可能性を最大限に発揮し、  
挑戦しつづけている状態

2

### 自己成長

困難な問題や課題解決を糧<sup>かて</sup>  
にして、自己変革によって、  
全人格の能力が向上する

3

### 価値創造

理想的な社会に向けて、お  
客様や社会のために新しい  
価値創造と感動を提供する

4

### 社会調和

まわりの人や地域社会と調和  
しながら家族と共に、幸せ  
に生活しているという実感

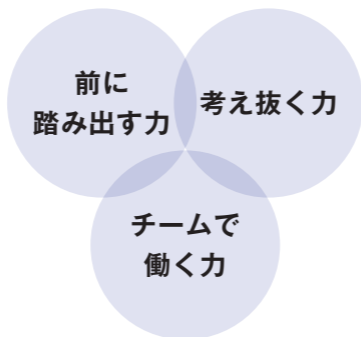


私たち(自分)の成長への  
想いと志の行動<sup>こころざし</sup>  
お客様に喜ばれる  
住生活の商品・技術・サービスの提供

## リーダーの役割

経営理念の実現のために手本となって、  
本気で取り組み  
仲間（スタッフ）を信頼して  
支援し続けることによって  
誰もが幸せを実感できる職場を創ること

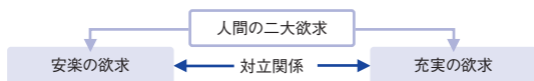
### 人を育てる



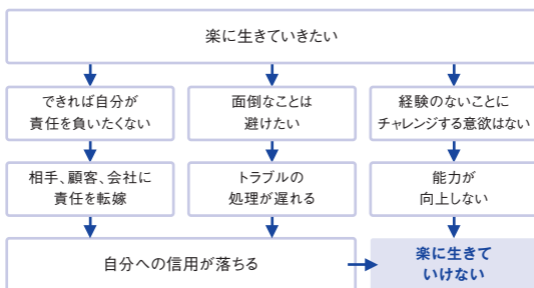
気づきと自発的・自立的な発達を促す!

人が育った究極の人財像  
ゴール 自立型人財

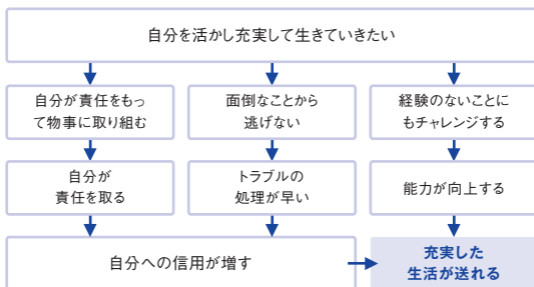
# 依存型人材から自立型人材へ



## 「安楽の欲求」から生まれる考え方・行動・結果



## 「充実の欲求」から生まれる考え方・行動・結果



## 自立型人財とは

いかなる環境・条件の中においても  
みずか  
自らの能力と可能性を信じ  
最大限に発揮して  
道を切り開いていこうとする人財

### 自立型人財の行動姿勢

社会や地域に  
貢献するために働く

自由に物事を考え、  
可能性を感じる

問題・課題を  
プラス志向で受けとめる

相手を全面的に認め、  
信頼し支援する

今できることから  
全力で取り組む

みずか  
自らの行動の  
可能性を信じ、期待する

公平に物事を見て、  
公平に判断を下す

自分自身に  
しん  
真の原因があると考えてる

手法は変えても、  
目的はあきらめない

将来に向け現在を  
楽しみ、未来を創造

## 新しい価値をつくる

お客様のニーズを  
どのように捉え？

どのように  
成長・存続していくか？

どのようにすれば  
会社が正しく成長発展  
できるのか？

どうすれば  
信頼し合いながら  
働くことができるのか？

自分を成長させるためにも……

正しい意思決定を行うためにも……

私たちは住生活産業の未来を育てる

新しい価値創造のパートナーとして

顧客の衆知しゅうちを集め社会に貢献する正しい道を選びます

それはデジタル先行の時代において

自社の存在価値やビジネスモデルを

ディーエックス DX(デジタルトランスフォーメーション)推進すいしんの中で

私たちの知恵・知識を活用して、新しい価値をつくる

新しい価値をつくる内容とは、

顧客満足・顧客価値を目指し、安心・安全を基軸とし  
モノからコトへの変革、地域・取引先の方と協力して  
固定観念を変え・現状を変え・現場を変え・自らみずかを変え  
豊かな社会実現に向けて、住生活環境を新しく変える  
社内活性化「活気あふれる職場環境づくり」への行動

**私たちとナカザワグループの素晴らしい未来をつくる**

# 私たちの経営理念

ビジョンもミッションも

しあわせ創造企業も私たちの経営理念

未来を見つめ、新しい価値を創造し、  
幸せな家族、豊かな社会の実現に貢献する

ことで実現が可能!

必要なものは、  
私たちの心の若さ  
夢や希望にあふれ  
勇気にみちて日に新たな行動するかぎり

今と未来を、幸せと豊かさを共につくる  
「正しい変革」と「幸せ創造」のチャンス

会社の若さとは、  
私たちの心の若さであり……

変化を味方にする経営思考

Trend

時代の流れに  
あっているか

Value

社会的価値を  
持っているか

Pioneer

新しい価値創造が  
あるか

求められる能力は、課題発見力・的確な予測・革新性  
三位一体経営で「未来への行動指針」に取り組む



# ナカザワグループの未来への指針

経営理念・基本方針に共感するメンバーが集まり  
全社員の「物心ぶっしんりょうめん両面の幸福こうふく」と  
「しあわせ創造企業」を目指し

**社会に貢献する、グループを創造する**

さんみいったい  
**三位一体の熱意で創造する**

**「しあわせ創造企業」に必要な3つの条件**

1

## 理念共感

目指すべき目標と  
ビジョンを持ち、  
その実現の為に  
共感するメンバー  
で構成する

2

## 自立創造

メンバーが自己  
責任で考え、自分  
の出番をつくり、  
あら新たな価値創造  
にチャレンジ

3

## 相互支援

他のメンバーを  
信頼し、欠点を  
おぎな補い、グループを  
成功させる為に  
自己資源を提供

**“お客様に必要とされる会社”  
であり続けるために**

**いつも明るく輝いて、  
心豊かで活力ある明日のために！**

**お客様が満足する  
商品・技術・サービスを開発する**

# 成長のための取り組み

## 働き方改革

### 意識改革で長時間労働を是正

無駄を省き、  
合理化を追求し  
社内システム改革で  
生産性アップ

働き方改革の目的は  
私たちのワーク・ライフ・  
バランスの実現

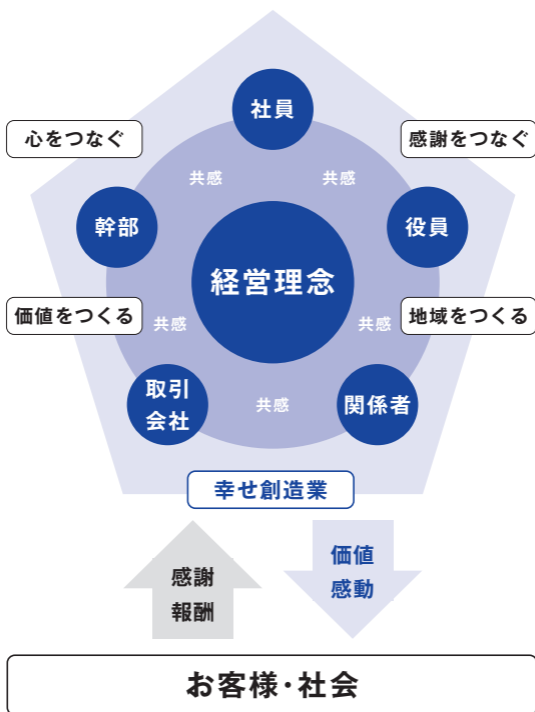
## 共有価値創造

顕在化した住生活市場の問題や課題解決のために  
我々グループは「住生活環境の向上とお役立ち」に  
取り組み、社会的な企業価値を高め、地域コミュニ  
ティ開発に挑戦し、新たな顧客の創造を目指します

業界が直面する最も困難な課題を  
解決するために働くことが  
グループの持続可能な経営を導き出す

## 協創の組織を目指す

社会に貢献する明確な目標を持ち、その実現のためにグループのメンバーだけでなく、取引会社や関係者の皆様にも経営理念に共感していただき、お客様・社会に無限の価値と感動を提供し続ける組織を構築する。



# 理想のナカザワグループ

## クオリティー Quality Company カンパニー

- 社会に貢献し、人を幸せにする経営理念がある
- 経営理念に共感する社員・幹部が集まっている
- 経営理念が全ての行動・仕事に反映されている
- 幹部は、誰よりも経営理念の実現を目指している
- 幹部はどんな困難にも動じず、率先垂範そっせんすいはんで行動する
- 役員は、社員を信じ、一生付き合う覚悟で接する
- 社員は、職場は自分が最も輝く舞台と思っている
- 社員は、幹部・役員を目指す存在として尊敬そんけいしている
- 誰もがより良い仕事をする為に、自ら考え行動するみずか
- 誰もがどんな小さな失敗からも学び、成長している
- お客様を幸せにするために一致団結して働いている
- 問題が起こると、みな出番と思って取り組んでいる
- 職場には、やる気になる考え方やルールが浸透する
- 職場では、誰もが助け合い感謝の言葉が溢あふれている
- 全てのステークホルダー（関係者）は共感者である
- お客様からの最高の報酬は、「ありがとう」の言葉
- Quality Companyクオリティーの最高の価値は、社員カンパニーの働く姿

社員  
満足

×

顧客  
満足

×

社会性

×

しゅうえき  
収益性

クオリティー  
Quality  
カンパニー  
Company

共に学び、共に高め合い!

「社員の幸せ」「会社の成長」「豊かな社会の実現」

# 人事方針

## 社員の個性を尊重し、無限の能力と 可能性を引き出せる環境を提供する

私たちの経営資源の根幹こんかんにある“人財”の能力と可能性を  
引き出すことは、自立型人財はいしゆつ つなの輩出に繋がります。

自立型人財が育てば会社の未来・社会の未来が  
不安から希望に変わります。

自立型人財を育て、働きがいを生み出すには、  
会社と社員の相互の歩み寄りが必要です。

働きがい = 働きやすさ + やりがい

働きやすさとは社員の皆さんが背中に不安を感じず、  
安心して働くことができる職場環境整備であり、  
やりがいとは社員自ら報酬みずかを生み出せる状態を意味します。  
その為には経営の基本方針の更なる強化が必要です。

### 1 ガラス張り経営を強化

社員・幹部の皆さんの目標に対する努力と成果を数字で可視化します。

### 2 全員参画さんかくの経営を強化

理念・方針・戦略・行動みちすじの道筋を誰が見ても分かる状態にします。

### 3 成果配分の経営を強化

成果の配分方法には金銭・非金銭報酬があります。長期的に安心して  
働ける金銭報酬制度を設計し、労務環境の向上による非金銭報酬を  
底上げします。これによって、「物心両面ぶっしんりょうめん こうふくの幸福」を高めます。

# 教育方針

いかなる環境・条件においても自らの能力と可能性を信じ、  
誠意・熱意・創造力を持って、道を切り開く人財を育てる

自立型人財が育つ風土を創るためには  
オーナーシップを育む必要があります。  
オーナーシップとは自ら報酬を生み出す源泉とも言え、  
次の3つの要素から成り立っています

オーナーシップを持つための筋道

自己理解

目的思考

自己決定

## 1 自己理解を深める

ミスをしたときに反省することに慣れてしまうと思考停止になってしまい、いかにその場を切り抜けるかしか考えられなくなります。リフレクション(内省)思考を習慣化できれば事実だけを受け止めて次からの行動への教訓化ができるようになり、自己理解が深まります。

## 2 目的思考を持つ

手段から先に考えたりルールを丸覚えたりするのではなく『何の為に』を常に自分に問い続けます。ちょっと“その先”を見て、手段は最後に柔軟に考える習慣を身に付ければ、自然と目的思考も身についてきます。

## 3 自己決定をする

他責や受身の仕事をしています常に周りに振り回され、結果として不満の多い人生を歩んでしまいます。自己理解が深まれば目標への距離感を正しく測ることができ、目的思考を持てば判断基準が明確になり、自分の人生を自分で選択する事ができるのです。

# NAKAZAWA GROUP WAY

## 三位一体の熱意で将来を考え 顧客と共に「しあわせ創造企業」を築く

時代の変化は、我々グループにとって活躍の舞台です  
様々な社会の課題は、私たちの可能性を最大限に活かし  
飛躍・創造するチャンスであることを知っているからです

私たちは、厳しい状況でも目標を決して諦めません  
弱音を吐かず、失敗を糧にして乗り越えていきます  
苦しい時ほど、成長していることを知っているからです

私たちナカザワグループは、できない言い訳をしません  
やると決めたらどうしたらできるかを工夫して考えます  
その行動が不可能を可能にすることを知っているからです

社会や顧客のために、今何ができるかを考えています  
報酬はどれだけの価値、感動をお客様に与えられたか？  
の結果であることを私たちグループは知っているからです

私たちは働き方改革を進め「社員の幸せ」を追求します  
グループの将来は、私たち自身で考え、私たちで創ります  
すべてが、私たちの責任であることを知っているからです

私たちは楽な道よりも、充実した道を選びます  
いつも明るく輝いて、心豊かで活力ある明日のために！

幸せと豊かさを  
共につくる





経営のために  
大事にしたい  
素晴らしい  
先輩の言葉



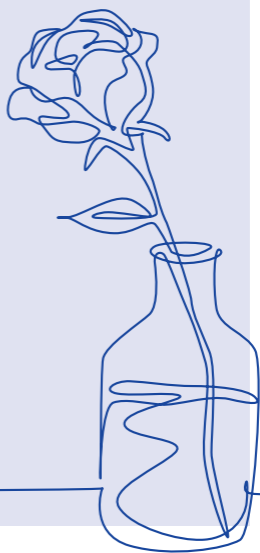
坂村 真民 鳥は飛ばねばならぬ(詩歌) …… 60

念ずれば花ひらく(詩歌) …… 61

稲盛 和夫 京セラフィロソフィ(抜粋) …… 63

松下 幸之助 実践経営哲学(抜粋) …… 71







# 鳥は飛ばねばならぬ 念ずれば花ひらく

『詩集 念ずれば花ひらく』サンマーク出版より抜粋

坂村 真民 著

詩人。1909年、熊本県生まれ。8歳の時、父親が急逝し、どん底の生活の中、母を支える。大学卒業後、熊本で教員となる。終戦後は愛媛県で高校の教員となり65歳で退職。58歳より、愛知県伊予郡砥部町に定住。2006年97歳で永眠。



一遍上人を敬愛し、午前0時に起床して夜明けに愛媛県中央部を流れる重信川のほとりで地球に祈りを捧げる生活。そこから生まれた人生の真理、宇宙の真理を紡ぐ言葉は、弱者に寄り添い、癒しと勇気を与える。

# 鳥は飛ばねばならぬ

鳥は飛ばねばならぬ

人は生きねばならぬ

どう  
怒濤の海を飛びゆく鳥のように  
こんとん  
混沌の世を生きねばならぬ

鳥は本能的に

暗黒を突破すれば

こうみょう  
光明の島に着くことを知っている  
そのように人も一寸先は闇ではなく  
いっすんさき やみ  
光であることを知らねばならぬ

新しい年を迎えた日の朝

わたしに与えられためいだい命題

鳥は飛ばねばならぬ

人は生きねばならぬ

人生の目的は「生きること」(自分らしく生き抜くこと)たった一度の自分の人生(幸せと豊かさを共につくる)迷いもするし、立ち止まりもするけれど、それも自分の人生を輝かせるためのものだからまた、歩き始める。

# 念ずれば花ひらく

念ずれば花ひらく

苦しいとき

母がいつも口にしていた

このことばを

わたしもいつのころからか

となえるようになった

そうしてそのたび

わたしの花がふしぎと

ひとつひとつ

ひらいていった

明治42年熊本県に5人兄弟の長男として生まれる。8歳のとき、父が42歳で急逝(きゅうせい)し、人生が一変。母は自分の手で5人の子供を育て、苦勞を重ねた母の言葉を詩にする。





# 京セラフィロソフィ

『京セラフィロソフィ』サンマーク出版より抜粋

稲盛 和夫 著

実業家。1932年、鹿児島県生まれ。鹿児島大学工学部を卒業後、京都の碍子メーカーに就職。1959年、京都セラミックス株式会社（現 京セラ）を設立。社長、会長を経て、1997年より名誉会長。2010年、一時経営破綻した日本航空を再建。2022年90歳で永眠。



半世紀以上にわたり、京セラやKDDIなどの経営に携わり、独特な経営管理手法は「アメーバ経営」と呼ばれる。『京セラフィロソフィ』は、会社を成長発展へと導いてきた普遍的な倫理観に基づく経営哲学が盛り込まれたものである。



## 「宇宙の意志」と調和する心

世の中の現象を見ると、宇宙における物質の生成、生命の誕生、そしてその進化の過程は偶然の産物ではなく、そこには必然性があると考えざるを得ません。

この世には、すべてのものを進化発展させていく流れがあります。これは「宇宙の意志」というべきものです。この「宇宙の意志」は、愛と誠と調和に満ち満ちています。そして私たち一人一人の思いが発するエネルギーと、この「宇宙の意志」とが同調するのか、反発しあうのかによってその人の運命が決まってきます。

宇宙の流れと同調し、調和をするようなきれいな心で描く美しい思いをもつことによって、運命も明るくひらけていくのです。

## 真の勇氣をもつ

仕事を正しく進めていくためには勇氣が必要です。ふだん私たちは、周囲の人から嫌われまいとして、言うべきことをはっきり言わなかったり、正しいことを正しく貫け<sup>つらぬ</sup>なかったりしてしまいがちです。

仕事を誤りなく進めていくためには、要所<sup>あやま</sup>要所で正しい決断をしなければなりません。その決断の場面では、勇氣というものが必要となります。しかし、そこでの勇氣とは蛮勇<sup>ばんゆう</sup>、つまり粗野<sup>そや</sup>で豪傑<sup>ごうけつ</sup>と言われる人のもっている勇氣とは違います。

真<sup>しん</sup>の勇氣とは、自らの信念<sup>みずか</sup>を貫きながらも、節度<sup>せつど</sup>があり、怖さを知った人、つまりビビりをもった人が場数を踏むことによって身につけたものでなければなりません。

## 素直な心をもつ

素直な心とは、自分自身のいたらなさを認め、そこから努力するという謙虚な姿勢のことです。

とかく能力のある人や気性の激しい人、<sup>が</sup>私の強い人は、<sup>おうおう</sup>往々にして人の意見を聞かず、たとえ聞いても反発するものです。しかし本当に伸びる人は、素直な心をもって人の意見をよく聞き、常に反省し、自分自身を見つめることのできる人です。そうした素直な心でいると、その人の周囲にはやはり同じような心根<sup>こころね</sup>をもった人が集まってきて、ものごとがうまく運んでいくものです。

自分にとって耳の痛い言葉こそ、本当は自分を伸ばしてくれるものであると受けとめる謙虚な姿勢<sup>けんきょ</sup>が必要です。

## 仕事を好きになる

仕事をやり<sup>と</sup>遂げるためにはたいへんなエネルギーが必要です。そしてそのエネルギーは、自分自身を励まし、燃え上がらせることで起こってくるのです。

そこで、自分が燃える一番よい方法は、仕事を好きになることです。どんな仕事であっても、それに全力を打ち込んでやり<sup>と</sup>遂げれば、大きな達成感と自信が生まれ、また次の目標へ挑戦する意欲が生まれてきます。その繰り返しの中で、さらに仕事が好きになります。そうなればどんな努力も苦にならなくなり、素晴らしい成果を上げることができるのです。

こうした心境にまで高まってはじめて本当に素晴らしい仕事を成し<sup>と</sup>遂げることができるのです。

## 自らの道は自ら切りひらく

私たちの将来は誰が保証してくれるものでもありません。たとえ今、会社の業績が素晴らしいものであったとしても、現在の姿は過去の努力の結果であって、将来がどうなるかは誰にも予測できないのです。

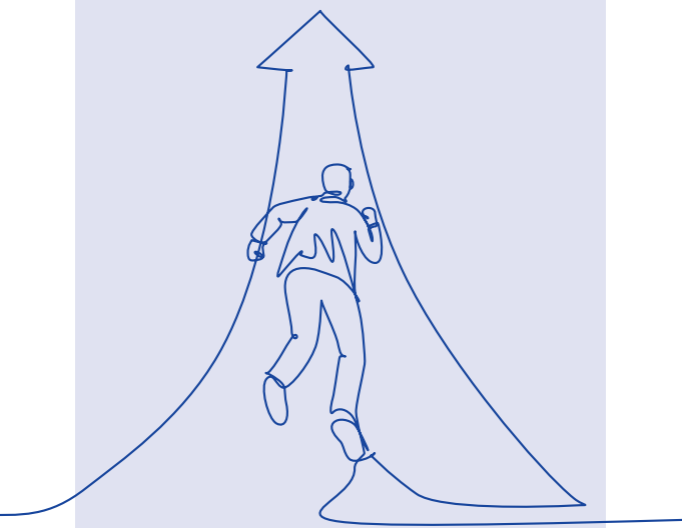
将来にわたって、素晴らしい会社にしていくためには、私たち一人一人が、それぞれの持ち場・立ち場で自分たちの果たすべき役割を精一杯やり<sup>と</sup>遂げていくしかありません。

誰かがやってくれるだろうという考え方で人に頼ったり、人にしてもらうことを期待するのではなく、まず自分自身の果たすべき役割を認識し、自ら努力してやり<sup>と</sup>遂げるという姿勢をもたなければなりません。

## 純粹な心で人生を歩む

古代インドよりサンスクリット語で「偉大な人物の行動の成功は、その行動の手段によるよりも、その人の心の純粹さによる」というある聖人せいじんの言葉が残されています。純粹な心とは言い換えれば、物ごとを行うときの動機が純粹であり、私心しんがないということと同じです。またそれは、人間として何が正しいのかということとも共通しています。

純粹な心を身につけることによって、私たちは間違いのない人生を歩んでいくことができます。純粹で私心しんのない心、すなわち人間として高い見識や見解を判断基準として物ごとを決め、人生を歩めば、その人の人生に大きな潤いとすばらしい結果をもたらすのです。





# 実践経営哲学

「実践経営哲学」PHP研究所より抜粋

**松下 幸之助 著**

実業家。1894年、和歌山県生まれ。9歳で単身大阪に出て、火鉢店、自転車店に奉公の後、大阪電灯（現 関西電力）に勤務。1918年、松下電気器具製作所（現 パナソニックホールディングス）を創業。PHP研究所や、松下政経塾を創設した。1989年94歳で永眠。



現在のパナソニックホールディングスを一代で築き上げた経営者であり、「経営の神様」の異名を持つ。経営学は学べても経営は学べないと言い、「実践経営哲学」の中では、“経営はいわば完成することのない生きた総合芸術である”と述べています。



## ことごとく生成発展と考えること

正しい経営理念というものは、単に経営者個人の主観的なものでなく、その根底に自然の理法りほう、社会の理法りほうといったものがなくてはならない。それでは、その自然の理法りほう、社会の理法りほうとはどういうものだろうか。これは非常に広大こうだいというか深遠しんえんというか、人知じんちをもって究め尽くすことはむずかしいといってもいいものであろう。しかし、あえていうならば、私は限りない生成発展せいせいほってんということがその基本になるのではないかと思う。

この大自然、大宇宙は無限の過去から無限の未来にわたって絶えざる生成発展せいせいほってんを続けているのであり、その中において、人間社会、人間の共同生活ぶっしんりょうめんも物心両面にわたって限りなく発展していくものだと思うのである。

そういう生成発展せいせいほってんという理法りほうが、この宇宙、この社会の中に働いている。その中でわれわれは事業経営を行なっている。そういうことを考え、そのことに基礎をおいて私自身の経営理念を生み出してきているわけである。

たとえば、資源こかつの枯渇ということがいわれている。もう何十年かしたら資源がなくなってしまう、そうすると人間は生きていかれなくなってしまうというような極端きょくたんな考え方もある。

しかし、私は基本的にそうは考えないのである。確かに、個々の資源というものをとってみれば、有限であり、使っていくうちになくなるものも出てくるだろう。けれども、それにかわるものは人知によって必ず生み出し、あるいは見出すことができる<sup>おとうきぞく</sup>と考えるのである。現に人間は過去の歴史において、そういうことをしてきている。昔に比べて、はるかに人口も増えているけれども、人口の少なかった昔の生活はずっと貧困<sup>こんにち</sup>であり、今日では一般庶民でも、ある面では昔の王侯貴族も及ばないような生活をしている。

それは、そういうことができるように、この大自然がなっているのであり、また人間がそのようにつくられているからであろう。いいかえれば、限りない生成発展<sup>せいせい</sup>ということが、自然<sup>り</sup>の理法<sup>ほう</sup>、社会の理法<sup>りほう</sup>として厳<sup>げん</sup>として働いているからである。

もし、資源があと何十年かで枯渇し、人間生活もきわめて貧困になってくるというのであれば、お互いの事業経営も、それに相応<sup>そうおう</sup>したものにならざるを得ない<sup>あら</sup>。新たな投資とか、そういうことはもちろん必要がなくなるし、場合によっては、事業そのものも縮小するなり、やめるということにもなりかねない。

しかし、宇宙に存在する万物<sup>ばんぶつ</sup>は日に新たに、限りなく生成<sup>せいせい</sup>発展<sup>はってん</sup>を続けていくという考えに立つならば、おのずとそれとは違ってくる。成長、発展のテンポというものには、その時々で違いはあろうけれども、この人間の共同生活は限りなく生成<sup>せいせい</sup>

はってん  
発展していくものだということになれば、それに応じた物資なりサービスなりの供給も時とともに増加させていくことが求められてくる。そうでなくては生成<sup>せいせい</sup>発展<sup>はってん</sup>にならない。だから企業経営としても、原則としては次々と新たな開発、新たな投資を行なっていくことが必要になってくるわけである。

もちろん、生成<sup>せいせい</sup>発展<sup>はってん</sup>ということは、一方で絶えず新しいものが生まれているということであるから、その一方で衰退というか、消滅していくものもあるわけである。そういうすべてを含んで、全体として生成<sup>せいせい</sup>発展<sup>はってん</sup>しているということである。事業経営においても、個々の商品なり業種については、一定の寿命というようなものが考えられよう。けれどもそれだけを見て、全体としての大きな生成<sup>せいせい</sup>発展<sup>はってん</sup>ということを見失ってはいけない。

やはり、この人間の共同生活、さらにはそれを包含する大<sup>ほうがん</sup>自然、大宇宙は絶えず生成<sup>せいせい</sup>発展<sup>はってん</sup>しており、その中でわれわれは事業活動を営んでいるのだという基本の認識は、どんな場合でもきわめて大切である。そういう明確な認識が根底にあってこそ、いかなる場合においても真<sup>しん</sup>に力強い経営を展開していくことが可能になるのである。

## 時代の変化に適應すること

正しい経営理念というものは、基本的にはいつの時代にも通ずるものである。経営というのは、結局、人間が人間自身の幸せをめざして行うものなのだから、人間の本質がいつの時代においても変わらないものである以上、正しい経営理念も基本的ふへんに不変であると考えられる。だからこそ、それだけ正しい経営理念をもつことが大切なのである。

しかし、その経営理念を現実の経営の上にあらわすその時々の方針なり方策というものは、これは決して一定不変いっていふへんのものではない。というよりも、その時代時代によって変わっていくのでなければならない。いいかえれば“日に新たあら”でなくてはならない。この社会はあらゆる面で絶えず変化し、移り変わっていく。だから、その中で発展していくには、企業も社会の変化に適應し、むしろ一步先んじていかななくてはならない。

それには、きのうよりきょう、きょうよりあすへと、常によりよきものを生み出していくことである。きのうは是とされたことが、きょうそのまま通用するかどうかは分からない。情勢おうおうの変化によって、それはもう好ましくないということが往々にしてあるわけである。

よく、長い歴史と伝統しにせをもった“老舗”といわれるところが、経営の行きづまりおちいに陥ることがある。そういうところは、正しい経営理念をもたないかという決してそうではない。むしろ、どこにも負けないような創業以来の立派な経営理念が明確に存在しているのである。

しかし、せっかくそうしたものをもちながら、それを実際に適用していく方針なりやり方に、今日の時代にそぐわないものがあるわけである。かつて成功した昔ながらのやり方を十年一日のごとく守っているというような場合も少なくない。もちろん、旧来のやり方でも好ましいものはそのまま続けなければいけないわけだが、やはり時代とともに改めるべきは次々に改めていかななくてはならない。

たとえば、宗教というものを考えてみても、そういうことが分かる。非常に偉大な宗祖しゅうそとか祖師そしといわれる人々が説いた立派な教えは、その本質においてはいつの時代にも通用するきわめて高いものが多い。けれども、その表現については、ずっと昔に説かれたそのままに今日話こんにちをしても、それではなかなか多くの人に受け入れられにくいものがある。だからその立派な教えを、今の時代に合わせて説くことによって、はじめて人々に広く受け入れられるのである。現実には、そのようにして祖師そしの教えを現代的な表現に直して説いている宗団しゅうだんは、今日こんにちにあっても多くの共感を得、信仰を集めているのである。

それと同じことで、いかに立派な経営理念があっても、実際の経営をただ十年一日のごとく、過去のままにやっていたのでは成果はあがらない。製品一つとっても、今日では次々と新しいものが求められる時代である。だから正しい経営理念をもつと同時に、それにもとづく具体的な方針、方策がその時々あらにふさわしい日に新たなものでなくてはならない。この“日に新たあら”ということがあってこそ、正しい経営理念もほんとうに永遠の生命をもって生きてくるのである。

## 素直な心になること

経営者が経営を進めていく上での心がまえとして大切なことはいろいろあるが、いちばん根本になるものとして、私自身が考え、努めているのは素直な心ということである。経営者にこの素直な心があってはじめて、これまでに述べてきたことが生きてくるのであり、素直な心を欠いた経営は決して長きにわたって発展していくことはできない。

素直な心とは、いいかえれば、とらわれない心である。自分の利害とか感情、知識や先入観などにとらわれずに、物事をありのままに見ようとする心である。人間は心にとらわれがあると、物事をありのままに見ることができない。たとえば、色がついたり、ゆがんだレンズを通して、何かを見るようなものである。かりに、赤い色のレンズで見れば、白い紙でも目には赤くうつる。ゆがんだレンズを通せば、まっすぐな棒でも曲がって見えるだろう。そういうことでは、物事の<sup>じっそう</sup>実相、<sup>あやま</sup>真実の姿を正しくとらえることができない。だから、とらわれた心で物事にあたったのでは判断を間違えて、行動を過つことになりやすい。

それに対して、素直な心は、そうした色やゆがみのないレンズでもものを見るようなもので、白いものは白く、まっすぐなものはまっすぐに、あるがままを見ることのできる心である。だから<sup>じっそう</sup>真実の姿、物事の<sup>あやま</sup>実相を知ることができる。

そういう心でものを見、事を行なっていけば、どういう場合でも、比較的過ちあやまの少ない姿でやっていくことができる。

経営というのは、天地自然の理に従い、世間、大衆の声を聞き、社内しゅうちの衆知を集めて、なすべきことを行なっていけば、必ず成功するものである。その意味では必ずしもむずかしいことでない。しかし、そういうことができるためには、経営者に素直な心がなくてはならない。

天地自然の理に従うとは、雨が降れば傘をさすというようなものだと述べた。雨が降れば、ごく自然に傘をさす、それが素直な心なのである。それを意地を張って傘をささないということは、心が何かにとらわれているからである。それでは雨にぬれてしまう。経営はうまくいかない。

世間、大衆の声に、また部下の言葉げんきよに謙虚に耳を傾ける。それができるのが素直な心である。それを自分が正しいのだ、自分のほうが偉いのだということにとらわれると、人の言葉が耳に入らない。衆知しゅうちが集まらない。いきおい自分一人の小さな知恵だけで経営を行うようになってしまう。これまた失敗に結びつきやすい。

素直な心になれば、物事じっそうの実相が見える。それにもとづいて、何をなすべきか、何をなさざるべきかということも分かってくる。なすべきを行い、なすべからざるを行わない真実の勇氣もそこから湧わいてくる。

さらには、寛容かんようの心、慈悲じひの心というものも生まれて、だから人も物もいっさいを生かすような経営ができてくる。また、どんな情勢じゆんのうどうの変化に対しても、柔軟ゆうずうむげに、融通無碍じゆんのうどうに順応同化かし、日に新あらたな経営も生み出しやすい。

ひと言でいえば、素直そうめいな心はその人を、正しく、強く、聡明そうめいにするのである。正しさ、強さ、聡明そうめいさの極致きよくちはいわば神であるともいえよう。だから、人間は神ではないけれども、素直な心が高まってくれば、それだけ神に近づくことができるとも考えられる。したがって、何をやっても成功するということになる。経営しかにおいても然りである。

しかし、そうはいうものの、素直な心になるということは決して容易ではない。人間には好き嫌いといった感情もあれば、いろいろな欲もある。それは人間本来備わっているもので、それをまったくなくすことはできない。それをなくしてしまえば、人間が人間でなくなってしまう。

したがって、そうした自己の感情なり利害というものに、ともすればとらわれがちになるのも人間の一つの姿である。あるいは、最近のように学問、知識が進み、またいろいろな主義や思想が生まれてくると、そういうものにとらわれるということも出てくる。だから、何ものにもとらわれないということは、言うは易やすくして、行やすうのはきわめてむずかしい。しかし、むずかしいからこそ、それだけ素直な心が大切なのであり、



その涵養<sup>かんよう</sup>、向上に努めなくてはならないのである。

それではどうすれば、素直な心<sup>やしな</sup>を養い高めていくことができるのか。これはいろいろあろう。たとえば、戦国時代の武将には禅<sup>ぜん</sup>にいそしむ人が多かったと聞く。禅<sup>ぜん</sup>の修行というのは、自分の心のとらわれをなくそうとするものでもあり、それは素直な心に通ずるものがある。戦<sup>いくさ</sup>という一つの経営、それも文字どおり命をかけた最も真剣な経営にあたって、古<sup>いにしえ</sup>の武将たちはできるかぎりとらわれのない心で臨もうとし、そのために禅<sup>ぜん</sup>を通じてそういう心<sup>やしな</sup>を養ったとも考えられる。

私自身はこういうことを考えている。それは、聞くところによると、碁というものは特別に先生について指導を受けたりしなくとも、およそ一万回打てば初段ぐらいの強さになれるのだという。だから素直な心になりたいということを強く心に願って、毎日をそういう気持ちで過ごせば、一万日すなわち約三十年で素直な心の初段にはなれるのではないかと考えるのである。初段ともなれば、一応事<sup>あやま</sup>にあたってある程度素直な心が働き、そう大きな過ち<sup>あやま</sup>をおかすことは避けられるようになるだろう、そう考えて、私自身は日々それを心がけ、また自分の言動を反省して、少しでも素直な心<sup>やしな</sup>を養い高めていこうとしているのである。

そのように方法はみずから<sup>ぜ</sup>と思われるものを求めたらよいわけだが、素直な心<sup>かんよう</sup>の涵養、向上ということ自体は、あらゆる経営者、さらには、すべての人が心がけていくべき、

きわめて大切なものである。それなくして、経営の真しんの成功も、人生の真しんの幸えせもあり得ないといってもいい。だから、素直な心に段位をつけられるものであれば、やはりお互いに初段ぐらいにはなることをめざしたい。そこまでいけば、これまでに述べてきたようなことも、おのずと体得たいとくされ、生かされてくるといってよいであろう。素直な心こそ、あらゆる意味における経営を成功させる基本的な心のあり方なのである。

## 会社概要

会社名	ナカザワホールディングス株式会社
代表取締役	社長 中澤 秀紀
創業	1980年 4月 1日 (ナカザワ建販株式会社)
設立	2020年 1月21日 (ナカザワホールディングス株式会社)
本社所在地	〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野4丁目3番20号
従業員	グループ計690名(2023年4月1日現在)
グループ会社	ナカザワ建販株式会社 株式会社こころ建築工房 フレック株式会社 エニワン株式会社 株式会社リンクス ナカザワワークス株式会社 つながり株式会社 SolaCoe株式会社 ナカザワサッシ加工株式会社 株式会社TATERU Academia YOUSTATION VIETNAM CO.,LTD.

関 連 団 体	一般社団法人空き家相談所 一般社団法人e-con研究所 一般社団法人グリーンインフラ推進協会
営 業 品 目	プレカット事業 住宅建材・住宅設備機器 太陽光発電システム・蓄電システム 外装建材・サッシ 電設資材・エクステリア 内外装工事・住宅設備工事 木構造フレーミング工事 保険代理業
諸 登 録	建設業許可(大阪府知事) 宅地建物取引業(大阪府知事) 第一種貨物利用運送事業 木造住宅合理化システム スーパーメタル工法 合法木材供給事業者認定(FIPC) グリーン購入法事業者認定(日合商) ISO9001(品質マネジメントシステム) ISO14001(環境マネジメントシステム)

## 企業価値の源泉

ナカザワグループは、経営理念に則り、様々な事業活動を通じて、お客様や地域の皆様に喜んでいただくための課題解決や価値創造を行うことで、よりよい社会の実現に寄与し、その結果が企業価値の向上につながります。

企業価値の源泉となる経営資源の中で最も重要とする「人財」が生み出す『知的資産』の数々は、財務諸表に現れない、見えにくいものではありませんが、これこそが企業の本当の価値（強み・競争力・ブランド等）です。これら知的資産を把握し、事業活動に有効活用することが『知的資産経営』であり、持続的なナカザワグループの発展や社会からの信頼獲得に結びつくと考えます。

### 社員の力(保有資格)

一級建築士 / 二級建築士 / 木造建築士 / 一級建築施工管理技士 / 二級建築施工管理技士 / 二級土木施工管理技士 / 宅地建物取引士 / 販売士 / インテリアコーディネーター / インテリアプランナー / キッチンスペシャリスト / 福祉住環境コーディネーター / 住宅ローンアドバイザー / 衛生管理者 / 電気工事士 / 太陽光発電アドバイザー / 職長・安全衛生責任者 / 日商全経簿記・工業簿記 / 危険物取扱者 / 産業廃棄物処理業処分収集運搬業資格 / フォークリフト運転技能者 / 車両系建設機械運転技能者 / 運行管理士 / 玉掛技能者 / 足場の組み立て等作業主任者 / 木材加工用機械作業主任者 / 損害保険代理店資格 / 気密測定技能者 / 解体工事施工技士

## 地域への貢献

毎朝の近隣を含む清掃活動／こども110番／近隣の草刈り作業／和歌山エリアでの定期的な献血活動／地域貢献のための地元採用による雇用創出／若年層・高齢者の積極採用や就労支援／周年行事を通じて拠点所在市町村への寄附／自然災害による被害への支援(義捐金他)

## 環境への貢献

再生・再利用可能な木質資源の積極的有効活用 / 自社の社屋へ太陽光発電設備を設置 / COOL BIZ他低炭素アクションへの参加 / Fun to Share・COOL CHOICE への賛同・活動 / ESGの積極的取組み

## 施策への貢献

改革促進企業認定／長期優良住宅先導的モデル事業採択／職人・技術者の育成／第一回学生に教えたい“働きがいのある企業”大賞(フジサンケイビジネスアイ賞)受賞／健康経営優良法人2023認定／第三回大阪府健康づくりアワード特別賞(モズやん賞)受賞

## 許認可の保持

ISO9001認証／ISO14001認証／宅地建物取引業者／建設業許可(建築工事業・大工工事業・内装仕上工事業・タイルれんがブロック工事業)／第一種貨物利用運送事業許可／木造住宅合理化システム認定／合法木材供給事業者認定・グリーン購入法事業者認定

この手帳(社員の心得)は、  
いつも身につけ、目を通して、  
日々の行動指針としてください。

## 社員の心得 経営理念・基本方針

発行日:令和5年4月1日

---

発行・編集 ナカザワホールディングス株式会社  
『社員の心得』改訂プロジェクト  
〒594-1157  
大阪府和泉市あゆみ野4丁目3番20号

引用・参考文献 坂村真民『詩集 念ずれば花ひらく』  
稲盛和夫『京セラフィロソフィ』  
松下幸之助『実践経営哲学』

印刷・製本 株式会社新寿堂

---



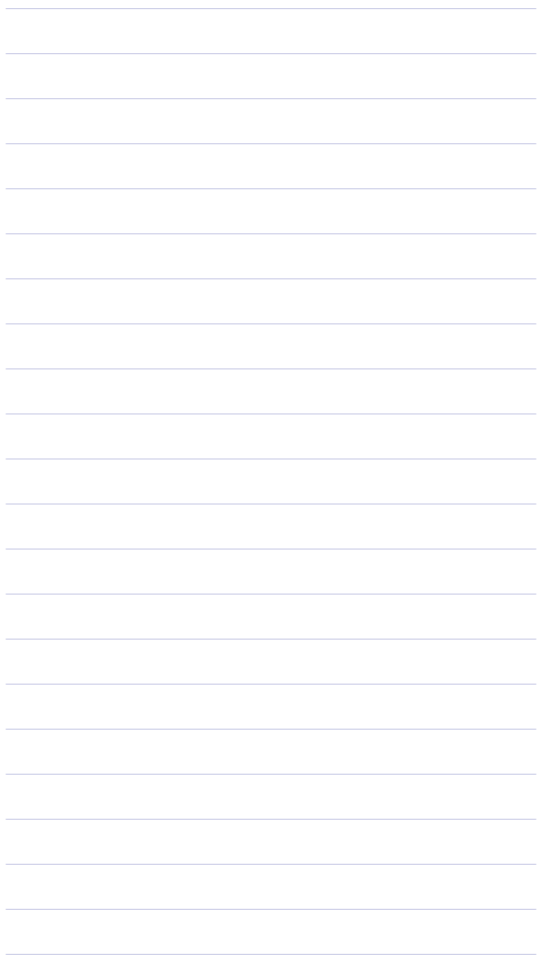














# 地震発生時のフロー図

## 地震発生

社内

外出先

自宅

### まずは自分の身を守る

- 机の下などにもぐる
  - 机などがいない場合は姿勢を低くして頭部を守る
  - 屋外の場合はガラスや看板などの落下物に気を付ける
- ※自宅の場合は玄関スペースが安全とされています

### 揺れが収まったら

- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する
- 足を保護するため、靴やスリッパを履く
- ガスの元栓を閉め、ブレーカーを切る

一時避難場所へ避難

すみ  
屋内の場合は速やかに  
屋外に出て建物から離れ  
広い場所に待機

自宅で  
待機できるか判断

避難が必要な場合は  
広域避難場所へ

避難が必要な場合は  
行政指定避難場所へ

避難が必要な場合は  
最寄りの避難所へ

安否確認システムより気象庁発表の緊急地震速報の  
10分後に情報配信および安否確認の通知

※津波警報・特別警報の際も同様に情報配信および安否確認の通知

安否確認システムで報告

# 災害用伝言 171

電話やインターネットを利用して被災地の方の安否情報を確認する「ダイヤル伝言板とweb伝言板」です。

## 災害用伝言ダイヤルの利用方法

- 1 171 にダイヤル
- 2 録音は 1 再生は 2
- 3 被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。携帯番号等の電話番号でも登録可能です。

市外局番

市内局番

お客様番号

- 4 ガイダンスに従い、録音（再生）



ご利用の詳細案内 <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

## webの利用方法

- 1 <https://www.web171.jp> へアクセスまたは **web171** と検索
- 2 伝言を登録する被災地の方などの **電話番号を入力**  
被災地の電話番号を市外局番から入力  
携帯電話等の電話番号でも登録可能です。
- 3 説明に従い、**登録/確認**

※確認時に他社の伝言板に伝言がある場合はリンクが表示されます。

ご利用の詳細案内 <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>